

# 入野小学校 校長室だより

2014.12.12(金) No.30 文責：芝

## 教室の中にある”し”は何？

ちょうど6年生がバスケットボールで遊んでいる写真を撮っていた時のことです。私の後ろから一輪車に乗って近づいて来た低学年の女の子から質問されました。

「校長先生、教室の中にある”し”は何？」



何のこと？とすぐには分からなかったのですが、『ああ、前に朝会で話したことか』と思い出しました。その時の朝会ではこんな話をしていたのです。

- 「1, 2, 3, 4…」は、「いち、に、さん、し…」と数える。
- ものを数えるときの「4」は「し」と言わないことがほとんど。
- 4個、4本、4人のように「よん」「よ」と言う。
- でも、「し」と言うものもある。たぶん、皆さんの教室の中にもある。
- それは、なんだろう。探してみて。

生活の中で何かを数える時には「いち、に、さん…」の系列と「ひ、ふ、み…」の系列が混ざっているものがほとんどですから、実は、

「難しい課題」と言えるのかもしれませんが。ですが、スンナリと答えを言ってしまっておもしろくありませんから、その朝会で答えは言いませんでしたし、今回の女の子の問いにも、まずは「ヒント」から始めました。

- あなたの家にもあると思う。
- 紙で出来ているものがほとんど。
- お店とかがくれる時がある。
- もうすぐ新しいのにかわる。

これでは低学年には不親切のようですから、もう少し付け加えてみました。

- 12月に使い終わる。
- 1月になったら新しくなる。
- ひらがなで書いたら3、カタカナの呼び方なら5（と、指を折って示す）。

ちょっと長めに引っ張ったかな…、私が朝会で話してから2～3週間たっていると思うのですが、それでもその子は気にしてくれていた様子、それが私には嬉しく思えたものですから…。

そして、私が指していたものが「こよみ・カレンダー」だと分かった時、その子は、「ああ！、”し”がある！」と言ってバスケットゴールの方へ一輪車を走らせて行きました。こんなふう↓に…。

